

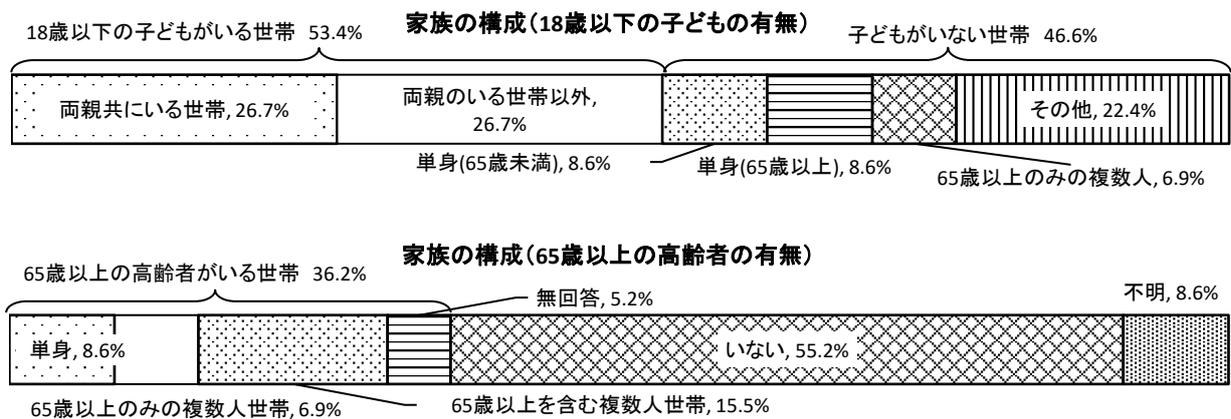
令和4年度東日本大震災避難者アンケート調査の結果について【概要】

1 調査目的・対象等

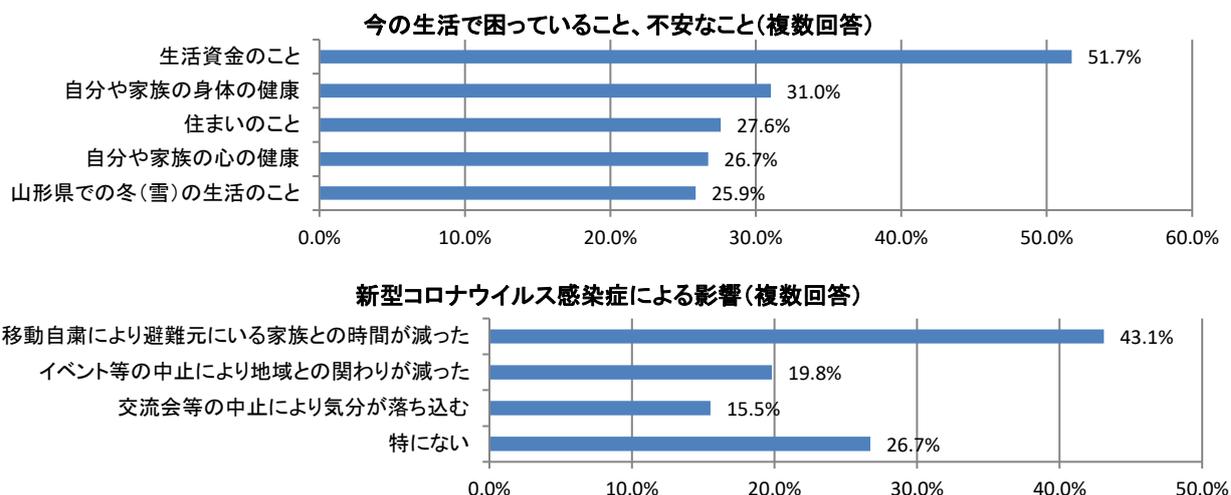
- (1) 調査目的：避難生活の長期化に伴う課題やニーズ等を把握し、今後の避難者支援策に資する
- (2) 調査対象：東日本大震災により山形県内に避難されている461世帯
- (3) 調査方法：郵送によるアンケート調査
(同封した返信用封筒又は「やまがたe申請」により回収)
- (3) 調査期間：令和4年6月下旬～7月中旬
- (4) 回答数：116世帯（回収率：25.2%）

2 主な調査結果

(1) 世帯の現状について

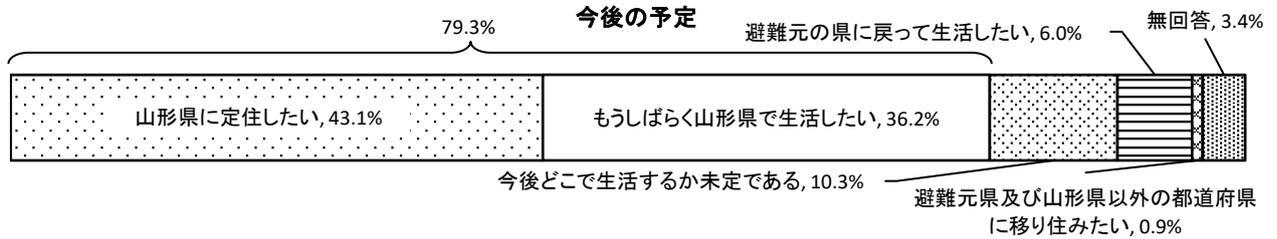


(2) 山形での生活について

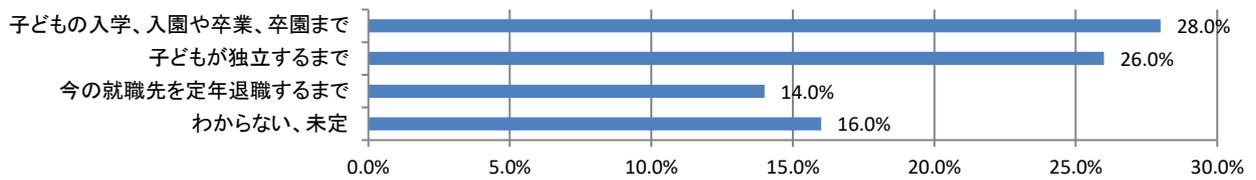


(3) 今後の生活について

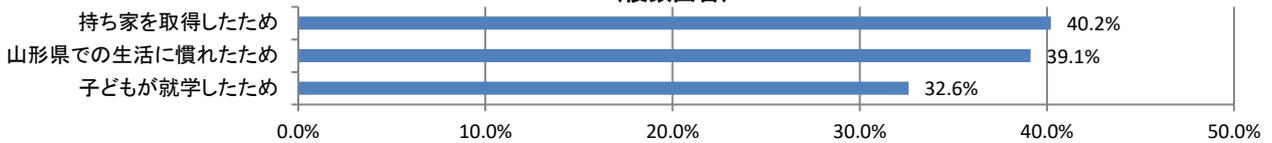
当面、山形での生活を続けたいと考えている方が約8割となっている。



山形県内での避難期間の見通し



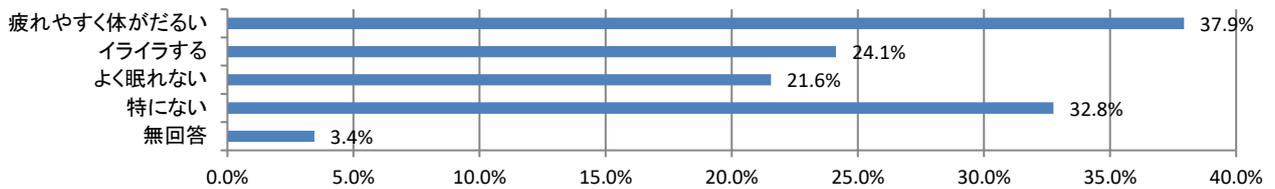
「もう少し山形県で生活したい」「山形県に定住したい」と答えた方の理由 (複数回答)



(4) 心身の健康について

約6割*の方が心身に何らかの不調を抱えている。

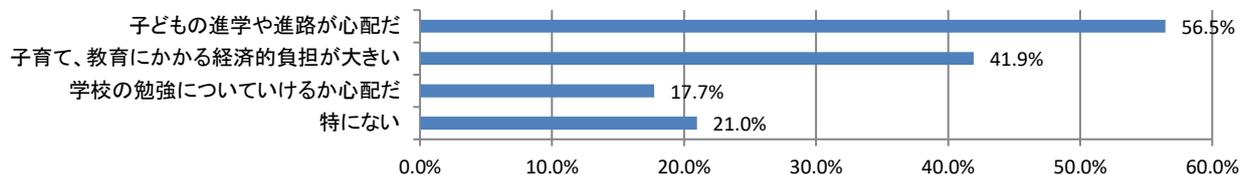
心身の不調について(複数回答)



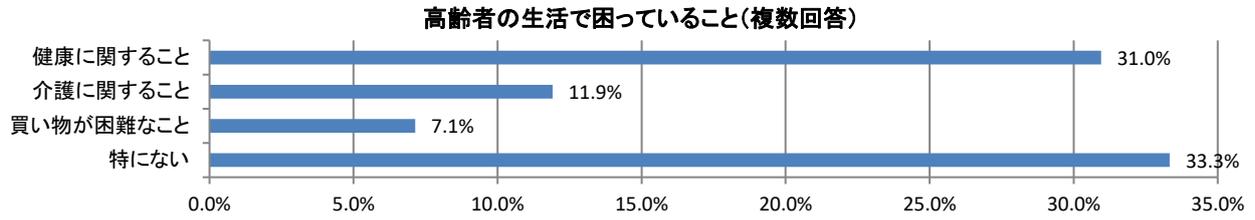
*「特にない」と「無回答」を除いた割合が約6割

(5) 教育や子育てについて

教育や子育てで困っていること(複数回答)



(6) 高齢者の生活について



(7) 県内で行っている避難者支援事業について

山形県内での支援については約7割の方が評価している。

